

「宝塚市気候非常事態宣言(案)」に対するパブリック・コメント手続きに基づく意見募集の結果一覧表

・意見の募集期間 令和3年(2021年)10月11日(月)～11月9日(火)
 ・提出意見件数 4件

No.	項目	ページ	行	市民等からの意見	市民等からの意見の採否及び理由	市民等からの御意見を受けての見直し結果
1	宣言全般に関する事	—	—	非常事態宣言とは危機的な状況下で、権力を一時的に集中させ私権を制約させる印象があり、少し脅迫めいている。気候変動に対しては、全体に納得感のある取り組みを進めていくことが不可欠であり、もっと宣言の内容をリーダーシップを持って推進していくような標題の方がいいのではないか。	【ご意見ありがとうございます。今後の参考とさせていただきます】 「気候非常事態宣言」は国内外で広く使用されている名称であり、本宣言案の最後に記すように、他の地方公共団体との連携の輪を広げ、行動を呼びかけていくために、名称は変更しないこととします。また、気候変動に対しては、多くの人に理解を得られる取組を進めていくことが重要であると考えます。そのためにも、本宣言案では、気候変動の危機的な状況の認識と情報共有など3つの具体的な宣言項目を掲げ、市がリーダーシップを発揮することを前提に、市民や事業者の皆様と連携・協力し、共に行動することとしています。	—
2		—	—	近年、特に気候の変化を特に感じています。この宣言文にあるように市民として率先して行動しなければならないと感じます。	【ご意見ありがとうございます。今後の参考とさせていただきます】 近年、全国各地で異常気象の多発や気温の上昇など気候変動が顕在化しているといえます。市としても、本宣言案に記すとおり、地球温暖化防止に向けて、気候変動の危機的な状況を認識し、広く情報共有に努めるとともに、市民、事業者の皆様と連携・協力し、共に行動していきます。	—
3		—	—	宝塚市として気候非常事態宣言を出すこと自体は良いことだと思います。しかし、市や市民がいくら頑張っても、世界で排出される温室効果ガスの量への影響は僅かであり、それだけでは世界的なこの温暖化を防止するのは難しいと思います。	【ご意見ありがとうございます。今後の参考とさせていただきます】 気候非常事態宣言の発出は世界的に広がっており、国内においても、国会をはじめ、100を超える地方公共団体や地方議会が発出しています。本市としても、本宣言案に記すとおり、宣言項目に取り組みながら、他の地方公共団体との「気候非常事態宣言」の連携の輪を広げ、行動を呼びかけていきます。	—
4		—	—	ここ何年か、日本でも世界でも、異常気象が当たり前になってきたと感じます。 今、COP26が開催されていますが、気候変動への対応は、世界中の全ての国、組織・団体、個人の問題であると感じます。 責任ある世界市民の一員及び地方公共団体として宣言を出すという趣旨に共感しました。宝塚市として宣言を出していくことに賛同します。	【ご意見ありがとうございます。今後の参考とさせていただきます】 近年、全国各地で、異常気象の多発や気温の上昇など気候変動が顕在化しているといえます。 気候変動は、国際社会が一体となって直ちに取り組むべき重要な課題であり、各国で温室効果ガスの削減目標を定めて、履行することとなっています。そのような観点から、本市としても地方公共団体の責任として、気候非常事態宣言を発出し、地球温暖化防止に向けて、市民や事業者の皆様と連携・協力し、取組を進めていきます。	—